

令和3年度

# 田原市のまちづくり

3月2日(火)に開会した令和3年田原市議会第1回定例会の冒頭、山下政良市長は、令和3年度の市政運営を明らかにする施政方針を説明しました。令和3年度予算案も原案通り可決されましたので、施政方針の要旨と新年度予算の概要をお知らせします。

## 《施政方針の要旨》

わが国の経済は新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあります。しかし、緊急経済対策や補正予算の効果も相まって、持ち直しの動きも見られています。ただ、いまだ回復の途上にあり、経済水準はコロナ前を下回った状態にとどまっています。

国においては、今回の感染症対策で明らかになった行政サービスなどにおけるさまざまな課題に対処すべく、デジタル社会やグリーン社会(※)の実現、活力ある地域づくりに対応することとしています。

本市においても、これらの国の動きをしっかりと捉え、AIなどのデジタル技術の活用や、環境負荷の少ない地域循環型社会の実現を目指した施策に取り組む必要があります。

新型コロナウイルス感染症の影響により予算規模が縮小する中においても、今後の持続的な発展に向け、限られた財源を効果的に活用してまいります。

\* \* \*

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症に対応するため、国や愛知県の取り組みに加え、本市の独自施策として「たはら暮らし応援商品券」の交付やプレミアム付き商品券の発行支援、農業経営の維持・安定に向けた支援など、あらゆる分野において生活支援や経済対策を実施してまいりました。

一方、子育ての分野におきましては、本市初の統合・民営化によるこども園、「童浦こども園」が4月に開園いたしました。

また、病気回復期の子どもを保育する「おひさま病後

児保育室」の開設などにより、保護者の皆さんが、子育てをしながら安心して就労できる環境を整えてまいりました。

11月には、伊良湖町で進めておりました温泉掘削工事が実を結び、ついに念願の温泉が湧出いたしました。今後は、新たな観光資源としての活用を目指してまいります。

\* \* \*

令和3年度は、法人市民税率の引き下げや新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な減収が見込まれ、厳しい財政状況が続くものと考えております。

こうした中でも、本市の強みを活かした魅力あるまちづくりを推進するとともに、市民の皆さんや事業者、団体とのつながりを深め、安心・安全で快適な暮らしの基盤づくりに努めてまいります。

\* \* \*

本市には、海や山など渥美半島ならではの雄大な自然や、豊川用水の恩恵による農業や工業など全国有数の地域産業があります。

これらの「強み」を最大限に活かし、元氣な渥美半島、住み良い田原市につなげるため、「逆境を乗り越え、未来につなぐ予算」として、令和3年度予算を編成いたしました。

市民の皆さんの格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

※グリーン社会とは、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出と消費をバランスさせること。

◆施政方針の全文は、市HPでご覧いただけます。

①1007715